

授業科目	情報の理解と表現				実務家教員担当科目	○	
単位	1.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	古川 洋章						
授業概要	<p>実務家教員として、プロジェクトマネージャおよびシステムエンジニアの経験から、情報技術を活用し自身が伝えたい内容を表現・伝達するための知識および技能について授業を実施します。</p> <p>情報社会において、発信する情報を相手に適切に伝えるためには、情報の特性を正しく理解し、媒体において最適な表現となるように加工・デザインする必要があります。</p> <p>これらの技術や知識を学ぶ方法として、計算機を用いた演習を通じて、情報を Web ページとして構成し視覚的に表現する方法について理解を深めます。</p> <p>この授業では、グループでの学習・活動を主に学習を進めます。</p> <p>なお、作品や発表に対して、教員の評価に加えて、学生による相互評価を成績に反映します。</p>						
授業形態	演習	授業方法		<ul style="list-style-type: none"> ・ P B L (課題解決型学習) ・ 反転授業 ・ ディスカッション ・ グループワーク ・ プレゼンテーション ・ Google フォームを利用した理解度の測定 ・ Classroom を利用した自主学习支援 			
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに関する情報を検索・収集して、自身が伝えたい内容を準備できる 2. 知的財産と著作権を配慮して、収集した情報をわかりやすく加工・デザインできる 3. 情報や表現媒体の特性をふまえた、視覚的表現を構成できる 4. 日々の生活のなかで接する情報やその表現について、批判的思考（クリティカル・シンキング）により評価することができる 5. 発表を通じて、自身の考えや作品を他者にわかりやすく説明することができる <ul style="list-style-type: none"> ・ 知的財産と著作権に配慮し、情報を性格かつ適切に伝達・発信することができる (DP1-1、DP5-1) ・ 表現意図に合わせて、簡単な Web ページを構成することができる (DP1-1、DP5-1) ・ 自身の考えや成果を、発表することができる (DP1-1、DP5-1) ・ 自身の進捗や課題を管理することができる (DP1-1、DP5-1) 						
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ (具体的な達成の目安：標準的なレベルに加えて) ・ 情報やその表現に対する高度な知識を備えることができる (DP1-1、DP5-1) ・ 視覚的にわかりやすい表現のためのプログラミングができる (DP1-1、DP5-1) ・ 情報やその表現に対する論理的・批判的思考を備えることができる (DP1-1、DP5-1) ・ 自身の考えや成果を、他者に適切に伝えることができる (DP1-1、DP5-1) ・ プロジェクトにおける進捗や課題を管理し他者に伝えることができる (DP1-1、DP5-1) 						
評価方法・評価割合							
評価方法	評価割合 (数値)				備考		

試験											
小テスト											
レポート			20%								
発表（口頭、プレゼンテーション）			30%								
レポート外の提出物			30%								グループワークにて制作した Web ページ、プレゼンテーション資料
その他			20%								授業中の発言や質問等の授業への積極的な参加姿勢、グループワークにおけるリーダーシップ
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE10514J
学習課題（予習・復習）										1 回の学習目安 （時間）	
予習：各回の授業計画で示された内容を、Classroom に掲載された資料から学習する 復習：グループワークにて制作する Web ページ、およびプレゼンテーション資料を作成する										1	
授業計画											
第 1 回	【オリエンテーション】 本授業の概要および Web ページの構成、授業で利用するソフトウェアやシステムについて学習する。										
第 2 回	【グループ決め・グループワークの進め方】 グループワークを行うグループ決め、および本授業におけるグループワークの進め方について学習する。										
第 3 回	【Web ページの作成方法（1）】 Web ページ作成の基本的知識である、HTML・CSS・JavaScript の導入部分について学習する。										
第 4 回	【Web ページの作成方法（2）】 Web ページにおけるセレクトタの概念と使い方について学習する。										
第 5 回	【Web ページの作成方法（3）】 Web ページにおけるフォーム要素の概念と使い方について学習する。										
第 6 回	【Web ページの作成方法（4）】 Web ページにおける画像の挿入および操作、スタイルの設定方法について学習する。										
第 7 回	【Web ページの作成方法（5）】 Web ページにおけるリンク、画面遷移について学習する。										
第 8 回	【テーマ発表・プロジェクト計画の作成】 本授業にて作成する課題のテーマについて説明し、課題制作に向けた計画を立てる。										
第 9 回	【課題制作（1）】 テーマに対して課題を作成する。 また、プロジェクトの進捗についてまとめ、発表する。										

第 10 回	<p>【課題制作 (2)】</p> <p>テーマに対して課題を作成する。 また、プロジェクトの進捗についてまとめ、発表する。</p>
第 11 回	<p>【課題制作 (3)】</p> <p>テーマに対して課題を作成する。 また、プロジェクトの進捗についてまとめ、発表する。</p>
第 12 回	<p>【課題制作 (4)】</p> <p>テーマに対して課題を作成する。 また、プロジェクトの進捗についてまとめ、発表する。</p>
第 13 回	<p>【課題制作 (5)】</p> <p>テーマに対して課題を作成する。 また、プロジェクトの進捗についてまとめ、発表する。</p>
第 14 回	<p>【課題制作 (6)】</p> <p>テーマに対して課題を作成する。 また、プロジェクトの進捗についてまとめ、発表する。</p>
第 15 回	<p>【課題発表】</p> <p>グループワークにて制作した課題と、プロジェクトの計画について発表を行う。 また、受講者間での相互評価を行う。</p>
テキスト	教科書の指定はありません。必要に応じて授業資料を配布します。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ MDN Web Docs HTML : https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML ・ MDN Web Docs CSS : https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/CSS ・ MDN Web Docs JavaScript : https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/JavaScript ・ JQuery : https://jquery.com/ ・ Visual Studio Code: https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/visual-studio-code
課題に対するフィードバックの方法	作成した Web ページやプレゼンテーションについては、授業中に口頭にてフィードバックを行います。
学生へのメッセージ・コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なコンピュータの操作（キーボードによる文字入力、マウス操作など） ・ Web ブラウザの基本的な操作 ・ インターネットを利用した情報検索 ・ 著作権に関する知識と理解 <p>本授業では、情報を相手に適切に伝えるための知識および表現するための技能について、Web ページの作成を通じて学びます。</p>

Web ページを作成する際に Visual Studio Code というソフトウェア（教室のパソコンにインストールされています）を使用しますので、空き時間に積極的に利用し予習・復習を行なってください。

（ご自身のパソコンにも導入できますので、必要な場合は授業中に持ってきていただければ導入を支援します）

本授業は情報系の科目の中でも難易度の高い科目（メディアリテラシーを履修、または同程度の知識を有していることを前提としています）です。また、反転授業を実施するため、授業時間だけではなく授業時間外においても、事前にしっかりと予習しておく必要があります。そのため、インターネットや大学および公共の図書館等を活用して、幅広く情報収集することを心がけてください。

授業中はグループワークを中心とした課題制作を行いますので、全員が必ずグループ活動に参加する必要があります。なお、グループは抽選にて決めますので、自由にグループを組むことはできません。

レポートおよび課題のテーマの内容については、授業内で指示します。また、学生相互評価時に記入した点数やコメントについても、最終的な評価の対象となります。